

校報

ましみず

9月号
掛合小学校
平成21年9月発行

よく遊び、よく学べ。

児童にとって教科等の学習、いわゆる「勉強」が生活の中で中心を占め、また、最も大切なことであることは申すまでもありません。その「勉強」がしっかりとできるためには、その前提として全身の動きをともなった遊びが欠かせません。指や眼などの小さな筋肉の動きは、腹筋や背筋などの大きな筋肉と密接な関係があると言われています。読み書き(勉強)は、乳・幼児期からの様々な動きの獲得があって成り立つものであり、巧緻性などの能力は学童期が最も伸びる時期です。古くから言われている「よく遊び、よく学べ。」の慣用句は、深い意味合いのあることばだと思います。例年より五日早く始めた第二学期の始業式では、この「よく遊び、よく学べ。」引き合いにして、外体を動かして遊ぶことの大切さを話しました。

本校の子どもたちの体力低下については、バス通学が始まる前から心配されてきました。また、運動場が離れていることから、休憩時間などに出て遊ぶことが少なくなっています。このようなことが体力の低下に結びついているきちんとしたデータ分析はしていませんが、皆様から体力の低下を示すような実態をお聞きすることもあり、この問題については種々対策を講じないといけないと考えています。折しも、九月十四日(月)に行われた、四校PTA・保護者会連携事業の講演会でも、講師の身体教育医学研究所うなん研究

員の鎌田真光様、雲南市健康推進課管理栄養士の原田奈穂美様から、子どもにとって運動、外遊びが大切であるお話がありました。(講演会については後段で紹介します)今学期は、子どもたちの健康づくり、体力づくりについて具体的な取り組みをしていきます。

永井隆平和賞発表式典

九月十三日(日)にアスパルで行われたこの式典に、今年度から雲南市内の全部の小学校第六学年の児童が参加することになりました。

石飛 大暉

今日、三刀屋のアスパルで永井隆平和式典がありました。初めて参加して、授賞式の人の朗読を聞いたり、永井隆博士の孫の永井徳三郎さんの話を聞いたりしました。永井徳三郎さんの話を聞いて、永井隆博士がどれだけ人を愛していたか良く分かりました。受賞者の朗読を聞いて永井隆博士に対する気持ちがすごく伝わってきました。だれもすごいことを書いているなあと思いました。永井隆博士はやっぱりすごいなあと思います。

式典が終わって、次は、わくわくお話隊の朗読劇を聞きました。題は、「平和は人を愛することから始まる」という題で、だれもが役になりきって朗読していて、永井隆博士がどれだけつらかったかがよくわかりました。自分は、白血病という病をかかえているのにもかかわらず人の治りようをしていた博士の気持ちが分かりました。あらためて原爆のおそろしさが分かりました。

この式典に参加して本当に良かったです。

岡田 彩友美
今日、三刀屋のアスパルで「第十九回永井隆平和

賞式典」がありました。ここでは雲南市の小学校六年生や一般の人が来られました。

私が、一番、心に残ったのは、わくわくお話隊のみなさんがやってくださった「平和は、人を愛することからはじまる」でした。このお話は、永井隆博士がふるさとを後にして、長崎へと旅立つシーンから、白血病で四十三歳の若さで亡くなるまでの半生を物語っていました。このストーリー(内容)は、四年か五年生の時に、学習発表会でたしか見たから内容は、分かっていたのですが、今日、あらためて見てみて、すごく感動的でした。中でも、一番印象的だった言葉(セリフ)は、『...シートでもなんでもいい。一人でも多くの人(患者)を救うんだ!』という言葉でした。自分の体を犠牲(ぎせい)にしてまでも人の命を医者として救いたいと思う気持ちがすごいと思いました。私なら、自分の命を犠牲にして人の命を救うのは出来ないと思います。博士は、天国で、百年でも千年でも一万年でも、ずっと生き続けてほしいです。戦争と核兵器のない平和で楽しく暮らせるその日まで。

ランチルーム給食開始

掛合学校給食センター様の全面的なご協力により、今年度のランチルーム給食が九月一日から始まりました。夏休み中に、職員による打ち合わせや準備を進めてきたことや、一学期の教室給食での指導などの甲斐があつて、色別縦割り班での給食がスムーズにできています。学年ごとに割り当てられている仕事を、一年生から六年生までの当番全員が頑張っています。

第二回となるこの大会は、統合前

わんぱく相撲大会



【写真上】牛乳びんのふたなどは古紙で作られたこの入れ物に集めます。4年落合優菜さんのお母さんやおばあさんが作られ、大きな段ボール箱にたくさん入れて持って来てくださいます。



- 優勝・準優勝者 (敬称 略)
- 個人の部
- 5年男子
- 1位 北尾和也
 - 2位 安食拓哉
- 5年女子
- 1位 白菊帆乃佳
 - 2位 藤原由華
- 6年男子
- 1位 石飛大暉
 - 2位 永瀬敬吾
- 6年女子
- 1位 高尾真友
 - 2位 原茉奈美



から旧五校の連合体育的行事として、掛合ふるさとまつりなどの際に行われてきた、伝統のある大会を引き継いでいます。

大会に先立って、高橋 司様、松村直樹様に指導を受けました。また、九月二日(水)の大会当日には、お二人をはじめ土山幸延様、小川浩平様、若村 茂様に審判としてお世話になりました。



着衣水泳

万が一、川やため池に落ちた場合に、服が水を吸い込んだらどうなるかを、普段着を着た状態でプールに入って体験し、合わせて、浮くための方法などを知る学習として行いました。



地域で学ぶ 地域に学ぶ

二学期になってから、各学年では社会科や生活科、総合的な学習の時間などの学習として、学校に来ていただいたり、地域へ出かけたりして豊かな体験学習を行っています。

☆ コアの見学 3年生

9月11日(金)。品物の仕入れや陳列など、売するための工夫について調べました。



2階会議室での「ふるさと創生大学」の様子、裏手にあるピオトープの見学をさせていただきました。



9月9日(水) 2~3校時に出かけました。

これら学習の多くは、学校支援地域本部事業の今村コーディネーターさんにお世話になっていきます。

☆ 掛合公民館見学 2年生



☆ 稲刈り体験

五年生

今年も佐藤忠正様の水田でもち米の稲刈りをしました。



☆ オオサンショウウオの棲む川
松笠川での総合的な学習
五年生

9月7日(月)に昨年に続いて2回目の実施でした。残念ながら「ハンザケ」の姿は見えませんでした。「農地・水・環境保全事業」のご支援を受けました。

「医療職人材確保事業」に基づき
医師等派遣に係る事業の一環として九月十日(木)に来ていただきました。
先生の生い立ち、職業に対する夢や医師としての願い、地域を支える診療所の役割などがプレゼンテーションソフトで要領良くまとめられ、子どもたちにとっても分かりやすいお話でした。聴診器を使って呼吸音や心音を聴くこともしました。
本多一郎先生の優しいお人柄がにじみ出た、温かい雰囲気ワークショップ型の授業でした。児童にとって大変有意義な時間になりました。



☆ 掛合診療所の本多先生のお話を聞く
六年生



1年生は、1学期から生活科でアサガオの栽培をしています。夏休み中はお家に持ち帰りお世話をしました。休み前から花が咲き始め、今は実が育っています。

☆ 番外編
第一学年と第四学年は、二学期のこの一か月の間に、地域との関わりで進める単元はありませんでしたが、しっかりと勉強しています。



掛合保育所保護者会、掛合小学校PTA、掛合中学校PTA、掛合分校PTAでは、今年度から四校の学校間の連携に呼応して、PTA活動でも連携を深めていこうとされています。その第一回目の事業としてこの講演会が開催されました。
九月十四日(月)の夜七時半から掛合中学校ランクルームで行われた講演会には、身体教育医学研究所うんなんの研究員である鎌田真光様、雲南

四校PTA・保護者会
連携事業 講演会
「運動と食のクリニック」

今後とも地域とのつながりを大切にした学習を展開します。地域本部事業にも、どうぞご理解とご協力をお願いします。



着衣水泳をする4年生。この着衣水泳では、ペットボトルが浮輪代りになることなども体験しました。



原田管理栄養士様の考案で「試食」もありました。写真上は、「簡単味噌炊き込みごはん（おむすび）」と「手作りスポーツドリンク」を掛中家庭科で作っておられるところです。



市健康推進課の管理栄養士原田奈穂美様が講師として招かれました。赤ちゃんの時には骨の数も成人よりもずっと多く、それら（軟骨）は運動によって骨に成長していくことなど、四校連携の事業に合わせた適切なお話を聞かせていただきました。今後も連携は続きます。

掛合小学校 第2回運動会
テーマ「心をつなげて笑顔で楽しい運動会にしよう」



九月四日の代表委員会での決定をスタートにして、学年、色別で昼休みや放課後に準備、練習を重ねてきた運動会への取組み。いよいよ二十七日の本番が近くなってきました。天気にも恵まれて予定通りできました。右の写真は、開会式の練習の中で、「運動会のうた『ゴーゴー』」を歌っているところです。

ご家族お誘いあわせのうえ、ご来場いただき、児童の競技や応援、運営面での活躍にご声援ください。

地域を訪ねる遠足

島根県が進めている「ふるさと教育」、雲南市で今年度から本格的に実施されている「夢発見プログラム（雲南市キャリア教育推進プログラム）」では、「ふるさとに誇りをもつこと」が中心的な命題の一つです。雲南市の「夢発見プログラム」では、市全体の共通項目として「ヤマノオロチ」を取り上げられています。本校でも、一学期に三年生がゆかりの地を訪ねました。

本校では、二〜三ページで紹介しました地域学習（ふるさと学習）を社会科、生活科、総合的な学習の時間などの教科等で行っています。昨年度から、各学年の掛合町内の旧小学校区での学習はどうすればよいかを模索してきました。今年度は引き続き検討・修正をするとともに、遠足を掛合町内で行い、学年も限定して（第六学年は実施しません。）行うことにしました。十月二十八日、町内を掛合小学校の子どもたちが歩き回ります。行き先の予定は次のとおりです。

- 第一学年 慰霊塔公園
 - 第二学年 波多・ふれあいの里
 - 第三学年 松笠・龍頭が滝
 - 第四学年 入間・八重滝
 - 第五学年 多根・クラシック島根C
- （来年度は円通寺を含む）

雲南市PTA連合会
バレーボール大会

九月二十日（日）に標記の大会が大東公園体育館、大東体育文化センターで行われ、本校PTAチームも出場されました。一勝一敗で惜しくも決勝トーナメント進出はかありませんでした。

五月十二日の発会式から四か月余り、毎週火曜日の定例練習のほか、練習試合などの遠征もこなされてきた、藤原主将様はじめ選手の皆様、支えてこられた小豆澤監督様、石飛保体部長様はじめ保体部、役員の皆様。大変お疲れ様でした。

敬意と慰労の意を捧げます。



対戦成績				
第3試合	阿用小P	0-2	(7-15 12-15)	
第6試合	温泉小P	2-0	(15-5 15-10)	